

## 乾漆・調味料入れ・お椀・湯飲み・お盆

12番 駒木 華子

### ■制作意図■

テーマ「伝えたい物・残したい物」

残したい物（事）として、家族が団らんすることをあげた。そこで団らんの場である食卓を演出する食器類を制作しようと思い立った。伝統的な生活用品を伝えるという事でも、食器が最適だと思う。

### ■デザインコンセプト■

華やかさを演出したかったので、自分の名前と同じ花形にした。お椀やコップも曲線を生かしてあるので、お盆も曲線的なデザインにした。調味料入れは六角形で、他の物とコンセプトがずれてしまうのでとってを曲線にしたり、丸い穴をあけて統一感を出した。

### ■作業工程■

#### ●乾漆器（小鉢×5・菓子入れ）

- 1.石膏型の制作
- 2.錫金貝を貼る
- 3.布貼り（寒冷紗を糊漆で貼る）と切子付け  
（小鉢5枚・菓子入れ7枚）
- 4.脱型
- 5.錆付け（2回）
- 6.錆固め
- 7.スグロメ
- 8.下塗り
- 9.中塗り
- 10.上塗り

#### ●お椀（×2）とコップ

- （足つき・湯飲み×2）
- 1.木固め
  - 2.摺り漆
  - 3.水研ぎ  
2と3を繰り返す（10回以上）
  - 4.胴摺り

#### ●お盆

- 1.アイディアスケッチ
- 2.木地作り
- 3.木固め
- 4.摺り漆
- 5.水研ぎ  
2と3を繰り返す（10回以上）
- 6.胴摺り

#### ●調味料入れ

- 1.アイディアスケッチ
- 2.木地作り
- 3.木固め
- 4.摺り漆
- 5.水研ぎ  
2と3を繰り返す（10回以上）
- 6.胴摺り



お盆→



←乾漆（菓子入れ）



お椀→



←コップ



←調味料入れ



乾漆（小鉢）→

### ■感想・考察■

乾漆の小鉢と菓子入れが一番工程が多く大変だった。手間がかかったぶん、形になっていく様が嬉しく思えた。ふき漆のお椀とコップは一度失敗してしまい、真っ黒になってしまったが、研いだ部分が模様ようになってかえって良い味がでたと思う。木地の種類によって色の出方に違いがあることを知った。いろいろな種類の木で試す楽しみがあると思う。お盆と調味料入れは自分の好きな色が出て良かった。日常生活で長く使い続けていける物を作ることができて、今まで学んだかいがあった。なかなかふれる機会の無い、漆を学ぶことができて楽しかった。かぶれて大変な時もあったが根性ついたし、良い経験ができたと思う。